

中国の農村振興における 農村観光の機能と課題

— 広西チワン族自治区玉林市の事例を中心に —

馬 嫻
大 島 一 二

1. はじめに¹⁾

中国農村においては、近年、農村観光が新興産業として注目されている。それは、農村観光が有する、農村経済の開発、農村地域の生活環境の改善、伝統的な文化の維持、農民収入の増加、都市と農村の「融合」などの、多面的な機能が注目されているためである。そこで、本研究では、中国における農村観光の展開と問題点を明らかにするために、広西チワン族自治区玉林市に立地する「五彩田園現代特色農業園」（以下、「五彩農業園」と略す）の関係者、および地元農民にヒアリング調査を実施した。本稿は、その調査結果に基づいて、中国における農村観光の現状と課題について検討するものである。

農村観光は、近年中国共産党および中国政府の農村政策において重要視されている。つまり、2017年10月18日の中国共産党の第19回全国大会においては、農村観光について、「産業興旺・生態宜居・郷風文明・治理有効・生活富裕（産業振興、生態環境保全、美しい農村、有効な施策、豊かな生活）」をもたらすと指摘された。さらに、翌2018年の中央一号文件「中国共

1) 筆者は2020年9月に、五彩農業園の調査を実施した。今回の調査は、五彩田園管理センターの主任沈氏の援助を得た。ここに感謝を申し上げる。

キーワード：中国、広西チワン族自治区、農村観光、農村振興、現地調査

産党中央・国務院の農村振興戦略に関する若干の意見」では、農村観光が農業・農村政策における重要政策の一つに位置づけられている。このように、農村観光は経済面の効果だけでなく、農村社会、文化などへの波及効果も重視されつつあり、中国の農村振興における有効な施策として重視され、農村の持続的発展の手段として注目されている。

近年、中国において、農村観光が注目される具体的な要因は以下の点があげられよう。つまり、第一に、中国は農業資源が豊富で、長い歴史と豊かで美しい農業文化と景観を有しており、地域ごとに特徴のある観光資源が存在していること、第二に、地域固有の伝統文化や食文化資源を有していること、第三に、近年、都市の観光客の農村観光への関心が高まっていること、第四に、中国政府が政策課題として農村振興を取り上げ、政府が農村観光の初期の資金援助、インフラ建設、観光プログラムの開発、経営管理の指導などの面で支援していること、等から注目されているのである。農村観光を通じて、雇用の創出と所得向上、農村の経済発展の促進、豊かな自然資源、民俗風情、伝統文化などが融合され、総合的な体験を都市住民などに提供することができよう。

この農村観光を農村と都市それぞれの視点からみると、農村観光の経営主体は農民であり、彼らが有する農業・農村文化などの有利な条件を活用して、積極的に第3次産業の観光事業への参加を促進している。それによって、農業部門の剰余労働力を吸収し、農村の経済発展を促進することができよう²⁾。こうして、農村観光の振興は、農村のインフラ整備の向上、農村生態・環境の改善、都市と農村の交流を促進し、農村振興および都市と農村の二元的社会構造の緩和にも良好な影響を与えられる。

また、都市住民の側面に目を移すと、生活水準の向上とともに、自家用車の普及と農村地域の交通状況の改善、長期休暇制度の拡充などの要因により、市民の観光意識も変わり、心と体をリラックスさせることのできる「農村観光」が一種のブームとなりつつあることにも注目できる。

2) 詳しくは、大島一二(2017)参照。

このように、農村観光は近年急速に中国において関心を集めており、農村観光に関する先行研究も少なくない。例えば、張紀濤（2011）では、「農村観光がもつ機能と役割」を積極的に評価し、農業観光産業は旅行者が農山漁村を訪ね、豊かな自然と美しい景観を觀賞する観光機能、および都市住民と農村住民の交流と通じて、農民、農村、農業に対する都市住民の理解が深まるという社会的機能があると述べている。

また、李剛・黄朕（2016）では、観光による貧困援助、農民の研修・訓練の強化、美しい農村づくりなどの面から、農村観光を有効な政策として積極的に評価しているが、一方で、農村観光が直面している課題として、観光商品の同質化、景観保全意識の欠如、従業者の職業教育の立ち遅れなどの問題を指摘している。

こうした既存研究では、主に農村観光の定義、農村観光の分類、発展階段、経済社会面での効果等の議論が中心であり、具体的な現地の農村経済、農家経済における役割の分析、直面する課題の分析は十分ではなかった。そこで、本稿では、広西チワン族自治区玉林市玉東新区茂林鎮における実地調査の結果をもとに、具体的な農村観光の発展過程、農民収入の変化状況、さらに農業生産の発展、農村観光の管理構造、直面する課題等について検討し、この地域の農村観光における課題について考察する。

今回の現地調査は、2020年11月19日に五彩農業園において現地調査を実施した。調査の主な内容は、農村観光における企業経営の実態、農民の雇用、収益、農村観光の経営管理構造、開発の方法、政府の支援状況などに関するもので、調査対象者からのヒアリング形式で実施した。

2. 調査対象地域の概要

玉林市は広西チワン族自治区の東南部に位置し、面積1.28平方km、人口約736万人の地区級市である。玉林市は、農村労働力資源面で優位性を持ち、さらに自然資源、農業資源が豊富なことから、他の地域より農業観光の面において比較優位性を持っていると考えられる。また、玉林市は全国の農

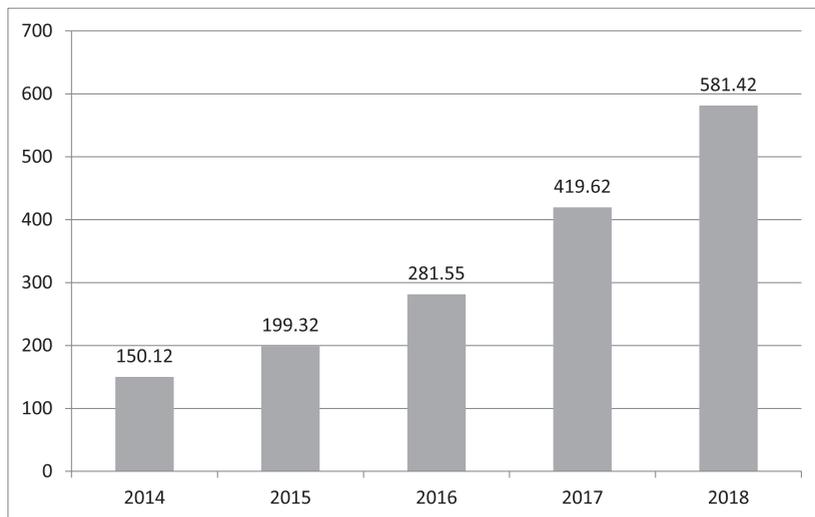
村改革試験区にも指定されている。

この一方で、玉林市は中国において有名な観光都市であり、観光資源が豊富で、120の名勝古跡があり、国家4A級観光地³⁾が11ある。こうした条件に基づいて、新農村建設の政策のなかで、現地の優れた農村資源を第3次産業である観光業に積極的に活用し、とくにその中で農村観光産業を推進しているのである。

近年の玉林市観光業の収入総額と観光客数に注目すると、図1は玉林市観光業収入総額、図2は玉林市の観光客数の推移を示したものである。この両図から、近年、観光業収入、観光客数とも大きく増加していることが理解できる。このように、玉林市は観光業の分野において優位性を有しており、農村観光を発展させる基礎条件を有していることが理解できよう。

本研究で事例として取り上げる五彩農業園は、玉林市中心部から東へ約

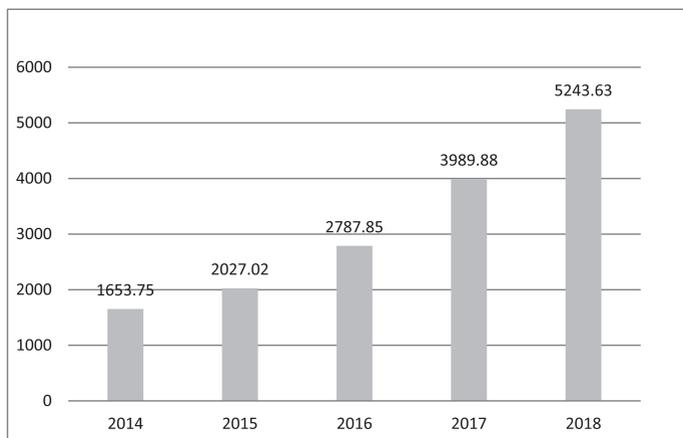
図1 玉林市観光業収入総額の推移



資料: 広西チワン族自治区統計局(2019)から作成。

- 3) 観光地の等級は、中華人民共和国国家観光局が制定している。これは単に観光地の重要性だけを示すものではなく、安全性、清潔面、交通の利便性等を総合的に判断して、観光地の質を高める目的ももっている。5Aは最高のものである。

図2 玉林市観光業の観光客数(万人)



資料: 広西チワン族自治区統計局(2019)から作成。

11kmに位置し、総面積 108 平方kmである。五彩農業園の開設に先立って、「五彩田園現代特色農業示範区計画」が計画立案され、建設が進められた。中心地域は 12 平方km、五彩農業園内には 27 の行政村が存在し、五彩農業園内で約 8.24 万人が生活している。これまで農民の大部分は農業に従業してきたが、近年では、農村観光として観光事業が拡大し、雇用も拡大している⁴⁾。

五彩農業園は、亜熱帯に属し、気温、水資源に恵まれ、年間平均日照は 1913.2 時間、年間平均気温は 21.8℃ である。五彩農業園は亜熱帯に属するものの、山間部に位置するため比較的冷涼な気候で、避暑地でもある。玉林市内の北流県、玉林区、陸川県三つの県市区の交差点に位置し、玉林空港まで 28km、南広鉄道駅まで 23kmと、交通の便は良い。現在計画中の玉林市から貴州省までの高速道路が開通すれば、将来交通条件はさらに便利になると考えられる。

五彩農業園は 2016 年に建設された玉林市の省級農業示範区でもある。2015 年に国家農業部、広西チワン族自治区政府によって「国家級農業産業

4) この部分の数値は玉林市統計局編(2018)に基づいた。

化示範区」,「国家4A級旅行景勝地」,「全国休閒農業および農村旅行示範区」に認定され,中央政府,地方政府から農業観光のモデルとして支持されている。

五彩農業園は竣工後約5年間の努力により,2019年には年間4479.9万人の観光客が訪れ,園内の経営主体は37に達し,営業収入は14.1億元を超え,2019年の農村観光事業は3.4億元の収入(前年比3.5%増)を生み出した。入場料収入額は344.3万元(前年比4.5%増)に達した⁵⁾。

五彩農業園は広西チワン族自治区農業と観光の代表的な特徴を有した地域である。多くの人文景観区と自然景観区があり,観光農業発展の比較優位性を有している。五彩農業園には約400ムー(1ムーは0.67a)の水稲栽培示範区,約500ムーの林木種苗栽培示範区,建設計画総面積約1,000ムーの生薬示範区,約100ムーの草花示範区,さらに農産物の加工企業,「農家楽」(一種の農家民宿)等の施設,圃場を有している。現在,五彩農業園はすでに果実,畜産業,観光業,漁業などの広義の農業部門を包含した総合的な農業生産拠点として機能しており,さらに農業技術開発,農産加工,農業関係の博覧展示,自然療養技術の普及,旅行宿泊業などの機能までも併設する近代的な農村観光施設に成長している。

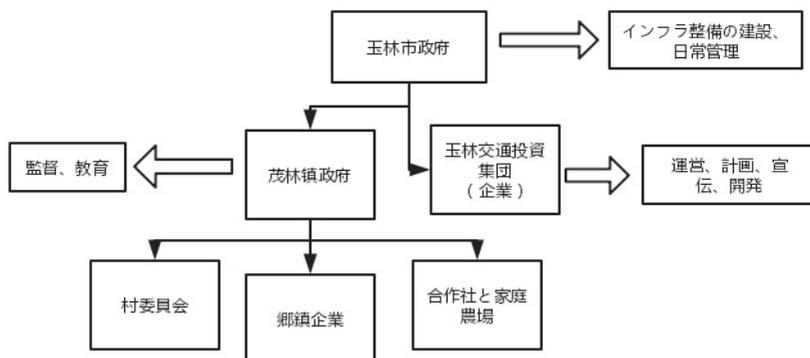
3. 五彩農業園における農村観光の展開

(1) 五彩農業園の経営管理体制

五彩農業園においては,特徴ある経営管理体制がとられている。図3に示したように,玉林市政府は統一管理機関として,五彩農業園全体の日常の管理監督を実施しているが,これに茂林鎮(玉林市に属する鎮,五彩農業園の所在地)政府も市政府の業務に協力し,管理体制を強化している。また,玉林交通投資集団は五彩農業園の計画,開発,資金募集,宣伝などを担当し,主に経済経営面を担っている。さらに,村民委員会は住民に対して教育,監督,人材育成などを行っている。

5) 農業園経営収益のデータは,五彩農業園が公表したものである。

図3 五彩農業園の経営管理体制



資料：聞き取りに基づいて筆者作成。

この図のように、五彩農業園の行政管理は玉林市政府と茂林鎮政府の二重管理体制であり、機能的にみると、両政府は行政管理、政策実施、監督を担当し、投資企業は具体的な経済運営を担当していることがわかる。

(2) 農民の所得増大とコミュニティ帰属意識の向上

前述したように、五彩農業園は農村観光の基盤となる農業、農村資源に恵まれた地域である。農業の現代化と産業化を推進するため、2015年から本格的に農村観光への取り組みを開始した。しかし、当時の現地の農民は農村観光事業を経営する能力と経験に乏しかったため、玉林市政府・茂林鎮政府が当地の農民に対し農村観光経営企業および合作社への農地委託を進め、企業・合作社を観光開発主体とした。さらに農民に対しては観光・サービス業関係の職業訓練を実施した。これらの一連の支援によって、徐々に農村経済は発展し、農民の所得は向上していったという。言うまでもないが、農民所得の増加は農村振興実現の重要な鍵であり、農業生産の発展、農村経済の発展、農民の利益保護に関わる重要な問題である。この五彩農業園建設による農村観光事業が本格化することによって、当地の農民生活の改善は以下の点から具体的に実現されていった。

まず、一つ目として、農民の資産としての農地からの財産収入の増大である。農民はこれまで自ら農業経営を行ってきた農地を、新型農業経営主体（土地委託管理合作社）に委託することによって、自らが得られると予測される農業経営収入を上回る収入を得ることが可能となった。この委託を可能にしたのは、政府が企業・合作社の経営を保証し、農民の土地経営権を確定したことによる。こうして、農民は安心して経営権を委託することが可能となった。この一方、企業・合作社にとっても、より長い期間の農地受託が可能となったことから、長期的な経営戦略を立案することが可能となり、大規模化、集約化、標準化した経営運営を実現できたのである。

二つ目として、観光農業の普及は農業構造全体を改善し、あわせて農外収入の多様化と引き上げも可能とした。現地でのヒアリングによれば、現在の農民の主要な収入は、「農業収入」のほかに、「合作社等への土地賃貸収入」、「観光事業収入」、「土地経営権の売却収入」、「郷鎮企業、合作社からの配当収入」、「年金、保険収入」、「農地合作社への株式投資収入」等である。このほかに、事業内容により、「企業・合作社での雇用賃金収入」、「家屋の賃貸収入」、「農家楽（農家民宿）収入」など新たな項目による収入も増加した。こうした一連の所得増加により、農民の生活方式も変化し、都市と農村の格差を縮小することも可能となった。

三つ目として、観光業の拡大に伴い、余剰労働力の吸収が可能となり、新たな雇用も生み出された。2019年末の統計によれば、五彩農業園内の現地農民の就業人数は5,000人に達し、他に、五彩農業園においてサービス業、交通運輸業、農業加工業などに就業した地域外出身の農民が約7,300人に達したという。現地農民の一人当たりの年間所得は約2.2万円に達し、広西チワン族自治区農民の2019年の平均所得13,676元⁶⁾に比べて大幅に高くなっている。

四つ目として、農民を対象とした教育訓練の実施を通じて、農民の接客などの農業観光技術の向上、農村観光に関する基礎知識を得ることを可能とし

6) 『中国農村統計年鑑2020』266ページ、中国統計出版社。

た。こうして農家のホスピタリティ意識を醸成させることは、農村観光の持続発展にも大きな好影響をもたらしたと考えられる。

これらの農家の所得基盤の強化と、教育訓練による農村観光開発の総合能力の向上を通じて、農村観光開発における現地の農民の主体的な役割を確実に高め、農民が直接的に利益を享受できる条件が整備されたことにより、住民のコミュニティ帰属意識が向上し、農村観光事業全体の発展が可能となった。

(3) 新たな農村観光プログラムの開発

五彩農業園においては、農村観光資源の開発を通じて、第1次産業に傾斜した農村の産業構造の改善を推進し、そのために、農村観光開発主体の改革

表1 開発された観光商品、サービス

名称	経営主体	経営動機	利用者	事業内容
特色ある農家民宿、農家レストラン	現地農民	農村観光ブームへの対応、自宅空き室の有効利用	周辺企業の職員、都市住民、地域外の団体顧客	宿泊施設の提供、農家料理の提供、顧客の農家料理体験
村落歴史景観施設	村民委員会	政府政策の応用	都市住民、地域外の団体顧客	農村の風土・民俗文化などの観光、伝統工芸体験
農村親子教室	農村合作社	農村観光ブームへの対応	都市住民、地域外の団体顧客	農業技術・知識の学習、農村啓蒙活動
農耕祭事体験	農村合作社、家庭農場	農村観光ブームへの対応	都市住民、地域外の団体顧客	農村祭事体験を中心とした農村観光
桜花海	鎮政府	農村観光ブームへの対応	地域外の団体顧客	桜の花見、農村景観の鑑賞・観光
会議場	郷鎮企業	啓蒙活動施設の必要に基づいて	政府職員、会社社員、農民	共産党の党政教育、農民の職業教育等

資料：調査結果から作成。

表2 五彩農業園における産業別プロジェクトの概況

分類	件数	項目
第1次産業	14	南薬園（漢方生薬の栽培）、バラ園、五彩農業技術示範園、荷の源（ハス園）、市民農園、水稻栽培基地等
第2次産業	2	広邦食品加工基地（熱帯果実の加工飲料製造）、中薬飲品加工基地（各契約農家で収穫された生薬を集荷し、洗浄・乾燥等の初期加工を実施）
第3次産業	21	高技術農業展覧室、鉄皮石斛農業観光園（鉄皮石斛の薬用植物の栽培と採取、加工に関する指導）、台湾有機農園、桜花海（多くの野生種、交雑種、園芸種が開花し、桜の庭園として有名）、農家民宿、農家レストラン等

資料：調査結果から作成。

を展開している。つまり、第2次、第3次産業の振興により、農村のバランスのとれた経済発展を推進し、農村と都市の格差是正を推進できるのである。こうした農村の非農業部門の開発は、農村観光商品、サービスの多次元での開発をもたらし、新たな観光客の誘致を可能とした。それに基づいて、農村観光開発主体の初歩的個性化と差別化により独自の観光業態を開発している。新たな観光商品、サービスの供給については、以下のような項目が新たに開発された（表1参照）。

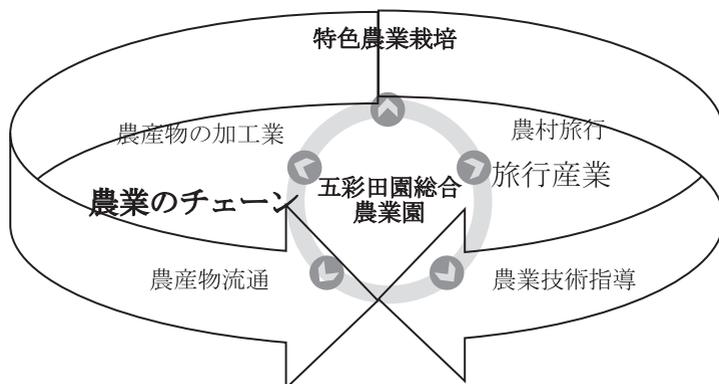
表1に示したように、新たに都市住民を主対象とした農村観光体験、農家民宿、会議場の提供等が具体化されている。

また、表2には、産業別にみたプロジェクトの概要を示した。この表2からわかるように、五彩農業園の各経営主体は比較的順調に成長しており、第1次～第3次産業を網羅し、各産業のバランスも比較的良好である。とくに中国農村では一般に第3次産業の発展が比較的遅滞しているため⁷⁾、農村観光との関係で農業関連の第3次産業の発展を促進することは、農業に好影響を与え、結果的に農民収入の増加を促進することができると思われる。

現在、五彩農業園内の入居企業は33社以上に及び、五彩農業園への投資総額は72億元を超えている。また、農家レストランは68、農家民宿は15

7) この点については大島一二（2017）に詳しい。

図4 農村観光を基礎にした産業循環共生圏の創造



資料:聞き取りに基づいて筆者作成。

に拡大している。こうした一連の関連した投資が実施され、農村に第1次～第3次産業を総合的に開発できれば、農村全体の経済開発は大きく進むものと考えられる。

これらの施策を総合的にまとめると、図4に示したように、各産業の有機的な連関を有した農村観光事業を核とした地域開発が可能になると考えられる。

4. 五彩農業園の問題点

これまで述べてきたように、五彩農業園では玉林市政府と投資企業が主導して農村観光業を進め、それに地元の農民が参画することによって、より多くの観光客が訪れる新たな農村観光地として成長している。

しかし、現地の観光開発は2015年に開始されたもので、いまだ歴史は浅く、近年急速に長を遂げた分野も多いことからいくつかの問題を抱えている。その主な問題点は以下にまとめられる。

(1) 補助金政策の弊害

すでに述べたように、中央政府と地方政府は様々な農村観光開発の扶助政

策を打ち出し、五彩農業園の発展を支援してきたが、各級政府が経済成長を追求するあまりか、または玉林市の政策管理力の不足のためか、結果的に農村観光にかかわる盲目的な施設建設現象が現れた（いわゆる日本の「箱物行政」の弊害に近い現象と考えられる）。つまり、地元の特徴ある文化と融合しない、現代的な建築物が建設されたり、必要性の低い施設の建設が散見される。また、短期間に多くの企業が進出したことによって、効率の低い財政支出が起これ、農村景観や自然資源の破壊を招く危険も増加している。こうした現象が深化すれば、五彩農業園自体の運営にも影響を与える事態も考えられる。

(2) 集客の強い季節性とコロナ禍下の観光業の困難

農産物の生産は季節性が強いいため、農村観光の発展も季節の影響を強く受ける。一方においては、観光客の連休などへの日程的な集中と地域的集中は、各種の観光関係施設を混雑させ、旅行の快適さを阻害するとともに、観光関連経営の発展と観光の普及に大きな障害となっている。

さらに、今回の調査結果からは、2020年に新型コロナウイルスの感染が拡大したことで、観光客の激減が農村観光にも大きな影響を与えたことが明らかになった。しかも、今年の停滞は、観光業がもたらすいくつかの社会的不安定問題、環境維持のコスト負担の問題等を浮き彫りにしている。つまり、2020年の観光収入の急激な減少に伴い、五彩農業園のインフラ構築や維持費、一部の農民の失業、生物多様性の保全活動の推進などに大きな影響が発生しているのである。こうした問題に対して、一部の産業に偏らない措置など、リスク分散を考慮しなければならない。

(3) 開発計画の課題

農村観光開発の成否を握っているのは、さまざまな科学的知見に基づく開発企画の立案によるものであるといえる。これまで五彩農業園では、地域政府が計画に関与してきたために、それほど大きな問題は発生してこなかった

が、個別企業、合作社等が多数参入するに従って、各企業等が経済的な収益を追求するあまり、無計画に農村観光施設の建設と土地利用を展開し、各部門間で調整がないまま、問題が発生し始めている。こうした状況が深刻化すれば、農業園自体の経営にも大きな損失が発生する可能性もあり、農村観光が継続できなくなることも懸念される。

5. まとめにかえて

本稿では、中国における農村観光の先進地の一つである五彩農業園において、農村観光事業の展開と問題点について、調査結果に基づいて検証してきた。

ここまでみてきたように、五彩農業園では玉林市政府の主導の下で、計画的に農村観光を推進してきたこと、農地集積について地域内の農民が利益を得られるスキームが構築できたこと、などにより比較的順調に観光客が増加し、地元農民の収入も増加し、都市と農村の格差が縮小するなどの効果が現れている。

しかし、いうまでもなく、今後、農村観光が本当に長期にわたって持続可能であるか否かについては、農民の主体的な地位を強化できるか否か、農村観光専門協力組織が有効な役割を發揮できるか否か、などの課題について、いくつかの課題が残ることも事実である。これらの点について今後も検討する必要があるだろう。筆者自身が今後更に、中国の農村観光について調査活動を継続していかなければならないと考えている。

<日本語文献>

大島一二 (2016)「中国における余剰労働力問題の展開」『桃山学院大学経済経営論集』第57巻第3号, pp 42~45, 桃山学院大学。

大島一二 (2017)「中国の農村開発における非農業部門の役割と就業機会の創出—農村における第3次産業の振興を中心に—」『桃山学院大学経済経営論集』第59巻第

1号, pp 10~17, 桃山学院大学。

高田晋史・中塚雅也 (2018) 「農家楽の業務外部化とビジネスエコシステムの形成—中国北京市怀柔区官地村を事例として—」『農村計画学誌』第37巻, pp 254~257, 農村計画学会。

張紀潯・夏占友・張虹 (2011) 「北京市観光農業の發展現状と問題点—北京市昌平区の事例を中心に—」『城西大学経営紀要』(7), pp 95~117, 城西大学。

李剛・黄朕 (2016) 「中国における農村観光開発の特徴と趨勢に関する研究」『大阪観光大学観光研究所年報』pp 55~58, 大阪明浄大学観光学研究所。

<中国語文献>

広西壮族自治区統計局 (2020) 『広西統計年鑑 2019』中国統計出版社。

郭煥成 (2008) 『北京休閒農業与農村旅行發展研究』地球情報信息科学出版社, pp 453~461。

玉林市統計局編 (2018) 『玉林統計年鑑 2018』玉林市。

張若陽 (2012) 『我国旅行綜合体開發模式研究』, 山東大学出版社。

(ま・まん／桃山学院大学大学院経済学研究科博士後期課程)

(おおしま・かずつぐ／経済学部教授／2021年1月18日受理)

Functions and Issues of Rural Tourism in Rural Development in China

— Focusing on the Case of Yulin City, Guangxi Zhuang
Autonomous Region —

MA Man

OSHIMA Kazutsugu

The Central Committee of the Chinese Communist Party and the Chinese government are advocating rural tourism as an important strategy for revitalizing rural areas. Rural tourism is currently an important approach to achieving rural revitalization strategies from an economic perspective, and rural tourism has multiple functions such as rural living environment, maintenance of traditional culture, and increase of farmers' income. It can be said that it is a new industry. It is also attracting attention from the perspective of "integration" between urban and rural areas of China.

However, rural tourism in China is still in its early stages and is currently facing many challenges.

Therefore, in this paper, we focused on the case of rural tourism in Yulin City, Guangxi Zhuang Autonomous Region, and examined the current situation and issues. In this paper, the field survey was the main survey method.